

# 京都大学人文科学研究所共同研究実績・活動報告書

( 4 年計画の 3 年目)

## 1. 研究課題

『文史通義』研究

A Study on " Wenshi tongyi"

## 2. 研究代表者氏名

古勝隆一

KOGACHI Ryuichi

## 3. 研究期間

2015 年 04 月 - 2019 年 03 月 (3 年度目)

## 4. 研究目的

章学誠(1738-1801)『文史通義』は、中国文明における文献と史学の意味を根本からとらえ直す偉大な著作であり、文献実証主義を越えて、さまざまな方法論に基づく読みが可能な文献である。本書の遠大なる構想を解明するため、文献学・史学・文学・思想史など、多角的な面から検討を加える会読を行う。本研究班ではこの『文史通義』内篇に詳細な訳注を加え、本書を十全に読解することを目的とする(外篇については、内容の選定が難しいことと、分量的な問題を考慮して、この研究計画では訳注を行わない)。訳注稿は『東方学報』京都に分載する予定である。

Zhang Xuecheng (1738–1801) was an eminent Qing Dynasty historian especially famous for his historical theory expressed in his magnum opus, *On Literature and History*. The book radically clarifies the meaning of writings and historiography in the Chinese culture from the ancient time to the Qing dynasty, and it should be read more closely and intentionally using various disciplines. To clarify the framework of *On Literature and History*, we would employ a multifaceted approach and thoroughly translate its Inner part into Japanese with precise annotations. The series of translations will be published in the *Tōhō gakuhō*, Kyoto.

## 5. 本年度の研究実施状況

本年度は 5 月 16 日に最初の研究班を開催して以来、おおむね 2 ヶ月に 3 回のペースで『文史通義』の会読を実施した。前年度に引き続き、活潑な議論を重ねており、問題が完全に解

決してない部分については、議事録を作成し、後日あらためて検討することができるよう記録を保管してある。あらかじめ担当者を決めて、会の数日前に訳注稿を各班員に配布し、班員が事前に目を通した上で研究班に出席する方法を採用したため、研究班では効率的に議論することができた。本研究班では『文史通義』内篇五巻を訳出することを目的としており、巻一の部分については『東方学報』91号に掲載済みで、現在、巻二の前半部分を『東方学報』92号に入稿中で、3月には出版される予定である。現在、巻三について訳出中。『東方学報』93号には、巻二の後半部分を入稿する予定である。

#### 7. 本年度の研究実施内容

2017-05-16 『文史通義』巻二「言公下」訳注 『文史通義』巻二「言公下」訳注 発表者 竹元規人 福岡教育大学

2017-06-20 『文史通義』巻二「言公下」訳注 『文史通義』巻二「言公下」訳注 発表者 竹元規人 福岡教育大学

2017-07-04 『文史通義』巻三「史徳」訳注

2017-07-18 『文史通義』巻三「史徳」訳注 『文史通義』巻三「史徳」訳注 発表者 小島明子  
お茶の水大学

2017-09-19 『文史通義』巻三「史積」訳注 『文史通義』巻三「史積」訳注 発表者 渡邊大  
文教大学

2017-10-03 『文史通義』巻三「史注」訳注 『文史通義』巻三「史注」訳注 発表者 古勝隆一

2017-10-17 『文史通義』巻三「伝記」訳注 『文史通義』巻三「伝記」訳注 発表者 陳佑真  
京都大学大学院文学研究科博士課程

2017-11-21 『文史通義』巻三「習固」訳注 『文史通義』巻二「習固」訳注 発表者 白須裕之

2017-12-05 『文史通義』巻三「朱陸」訳注(前半) 『文史通義』巻三「朱陸」訳注(前半) 発表者 福谷彬 京都大学大学院文学研究科博士課程

2017-12-19 『文史通義』巻三「朱陸」訳注(後半) 『文史通義』巻三「朱陸」訳注(後半) 発表者 趙ウニル 京都国立博物館

2018-01-16 『文史通義』巻三「書朱陸篇後」訳注 『文史通義』巻三「書朱陸篇後」訳注 発

表者 古勝隆一

2018-02-20 『文史通義』巻三「文徳」訳注 『文史通義』巻三「文徳」訳注 発表者 重田みち

8. 共同研究会に関連した公表実績

・巻一の部分については『東方学報』91号に掲載済み。・巻二の前半部分を『東方学報』92号に入稿中で、3月には出版される予定。・巻二の後半部分を『東方学報』93号に掲載する予定。

10. 共同利用・共同研究の参加状況

| 区分            | 機関数 | 参加人数      |          |          |          | 延べ人数        |            |            |          |
|---------------|-----|-----------|----------|----------|----------|-------------|------------|------------|----------|
|               |     | 総計        | 外国人      | 大学院生     | 若手研究者    | 総計          | 外国人        | 大学院生       | 若手研究者    |
| 所内            | 1   | 7<br>(0)  | 0        | 0        | 0        | 56<br>(0)   | 0          | 0          | 0        |
| 学内            | 1   | 9<br>(2)  | 3<br>(2) | 6<br>(2) | 6<br>(2) | 58<br>(10)  | 18<br>(10) | 40<br>(11) | 5        |
| 国立大学          | 2   | 2<br>(0)  | 0        | 0        | 0        | 21<br>(0)   | 0          | 0          | 0        |
| 公立大学          | 0   | 0         | 0        | 0        | 0        | 0           | 0          | 0          | 0        |
| 私立大学          | 3   | 3<br>(1)  | 0        | 0        | 0        | 26<br>(12)  | 0          | 0          | 0        |
| 大学共同利用機関法人    | 0   | 0         | 0        | 0        | 0        | 0           | 0          | 0          | 0        |
| 独立行政法人等公的研究機関 | 0   | 0         | 0        | 0        | 0        | 0           | 0          | 0          | 0        |
| 民間機関          | 0   | 0         | 0        | 0        | 0        | 0           | 0          | 0          | 0        |
| 外国機関          | 1   | 1<br>(0)  | 1<br>(0) | 0        | 0        | 6<br>(0)    | 6<br>(0)   | 0          | 0        |
| その他           | 0   | 0         | 0        | 0        | 0        | 0           | 0          | 0          | 0        |
| 計             | 8   | 22<br>(3) | 4<br>(2) | 6<br>(2) | 6<br>(2) | 167<br>(22) | 24<br>(10) | 40<br>(10) | 5<br>(0) |

※( )内には、女性数を記載

11. 本年度 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数

参加研究者がファーストオーサーであるものを対象

|                |      |
|----------------|------|
| 総論文数           | 9(6) |
| 国際学術誌に掲載された論文数 | 1    |

※( )内には、拠点外の研究者による成果(内数)を記載

15. 研究成果公表計画および今後の展開等

完成した『文史通義』内篇の訳注稿については、『東方学報』への投稿を準備している。5回に分けて掲載の予定。今年度、巻一に相当する分を『東方学報』にて公刊する。